

山形県知事 吉村美栄子 様

全国知事会で「国が沖縄県の求めに応じ対話するように」求める要望書

常日頃の県民の暮らしのためにご尽力下さり感謝致します。

山形県では国によって代執行が執り行われるというような深刻な事態はこれまで一度も経験がありません。しかし沖縄県では1月10日に知事の権限が奪われ、前代未聞の代執行が行われ、県民投票で示された民意が蔑ろにされ辺野古の海に土砂が投入されました。「国と県が対話を重ねることを通じて抜本的解決を図って行くことが望ましい」という裁判官の付言は実行されませんでした。対話も丁寧な説明もないまま工事が強行されています。しかし、沖縄県知事は今後も対話を求めて国と交渉して行く姿勢を崩していません。沖縄県民も辺野古の海と、自分たちの安全な暮らしを諦めていません。

地方自治の原則は地方の「公益」を尊重することを求めています。国は、軟弱地盤の海底に7万本以上の砂杭を打って地盤改良から始める完成困難工事に、未知の予算を注ぎ込もうとしています。更に、戦争で亡くなった数多くの犠牲者が今も土となって眠る沖縄県南部からも埋立て土砂を採掘しようとしています。まだ完成まで十数年かかり、完成したとしても地盤は沈み続け使い物になるかどうかわからない基地建設は、「公益」にも、「普天間基地の早急な危険除去」にもならず、自然環境と命の破壊、民主主義の破壊です。

戦後、沖縄は米軍統治下に置かれ「銃剣とブルドーザー」で基地が建設されてきましたが、今、日本の国によって暴力的に基地建設が強行されています。大多数の県民の声が、日本全体からは少数の声にされ不平等な民主主義によって沖縄に基地が押し付けられています。山形県知事ならび、全国の知事は国の代執行を黙って見過ごし国の横暴に加担することなく、地方自治体の長として、地方自治(県民の民意で示された多数の反対)と憲法13条で示されている国民の権利を守り抜く決意を示していただきたく、下記要請をします。

記

- 1、「沖縄県に対する国の代執行の行使を自分ごととして憂慮」し、沖縄県を交えて日本政府とアメリカ政府と三者で辺野古新基地建設について話し合うことを国に求めること。
- 2、辺野古新基地建設の見直しを国に求めること。

氏名	住所(山形県以外の方は県名もお願いします)

呼びかけ団体「国の代執行に抗う行動@山形」

漆山ひとみ 999-7542 鶴岡市水沢字行司免 43-13 0235-35-4041 沖縄に応答する会
菅野真治 999-4225 尾花沢市若葉町 3-6-28 090-2798-0600 沖縄を語る会
菊地将晃 997-0041 鶴岡市城北町 6-12 コーポ城北 2-B 070-5328-7409 PITOPE